

学校名	浪江町立浪江小学校	校長	石井 賢一
住所	福島県二本松市下川崎字三島台1番地		
TEL	024-567-3970	ホームページアドレス	http://www.namie-es.jp/

総合的な学習の時間「ふるさとなみえ科」を中心とした 横断的・総合的な学習の充実と郷土愛の育成

～なみえを愛し、みらいに向かって えがおで生きる子ども～

取組みの概要

自分の生まれ育った浪江町から離れて生活している今、「ふるさとなみえ科」では、郷土のよさを守り引き継ぎ、ふるさとのために活躍する人々の生き方に学び、郷土を愛する心を育てています。さらに、他教科とのリンクを意識した「自分の考えを伝える力」を高める横断的・総合的な学習を行い、未来を創造的に生き抜くたくましい人間を目指しています。

内容

浪江子ども新聞を作ろう (第1回 なみえ焼そば新聞)

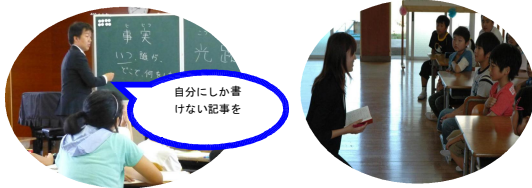
総合的な学習の時間

児童の目線から、前向きに生きようと努力する方々の考えを新聞にまとめる。

チャレンジタイム

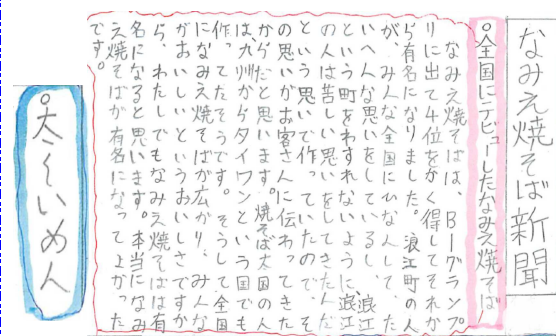
全校児童がいっしょにさまざまな言語活動に取り組み、言葉で伝える力を高める。

- ◇ 学校に取材にきている記者(新聞社・テレビ局)の方から、「新聞記事の書き方」「取材の仕方」を学ぼう。



人の想いを伝える仕事をしているお二人から、「目線を合わせる」「なぜを大切にする」などのポイントを聞くことにより、有意義な学習になりました。

- ◇ 「なみえ焼そば新聞」を作ろう。

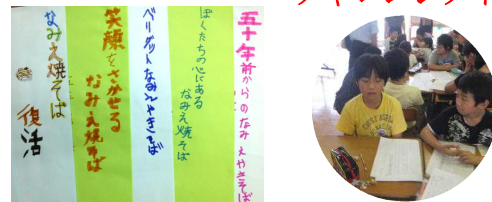


浪江焼麺太国の授業 「なみえ焼そば」について知ろう。



町おこし団体「浪江焼麺太国」の方々になみえ焼そばの歴史、特徴や震災後も活動を続けている「浪江」への熱い思いをお話していただきました。目の前で作られる様子に児童は感激し、試食をしながら「ふるさとの味です。」と笑顔で話していました。

- ◇ 「なみえ焼そば新聞」の見出しを作ろう。
チャレンジタイム



「なみえ焼そば」の話を聞きながらメモを取り、実際に作っている様子を間近に見て、試食した感想を持ち、感動したことを見出しにしました。一番伝えたいことを「見出し」にして、とても満足そうでした。

感想

○ 今までは、見出しはかんたんに書けばいいと思っていました。でも、うれしかったことや初めて知ったことなど、その時の気持ちを入れることで読む人にも気持ちが伝わるということが分かりました。今回作った「なみえ焼そば新聞」は、とても上手にできたと思います。

○ <浪江焼麺太国のみなさんへ> お話を聞いて、今でもがんばっているわけがわかりました。浪江町のことをわすれないでほしいという気持ちなんですね。私は皆さんに教えていただいたことを新聞に書きたいです。絶対、なみえ焼そばはふつうの焼そばよりおいしいです。これからも浪江を愛し、がんばってください。